

宮崎大学工学部 同窓会だより



同窓会役員・理事・事務局のメンバー

会長挨拶

2022年は、未だ新型コロナウイルス発生拡大の中、卒業生・修了生におかれましては宮崎大学工学部同窓会の発展のために格段のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

今年も重点的に実施している工学部同窓会活動について説明させていただきます。

毎月開催される工学部同窓会理事会において、理事の先生方と一緒に協議しながら毎年下記の4つの重点活動を積極的に推進しています。
※コロナ禍で大半の行事を中止。

(1)教育活動への支援

- 学生の学外研修の交通費等の支援
- 学生の各種活動への支援

(2)学生の福利厚生への支援

- 入学式の支援(貸切りバスなど)
- 教員・学生懇談会の支援
- 工学部主催のレクリエーション大会への支援
- 卒業・修了祝賀会の開催、卒業懇談会への支援

(3)就職活動への支援

- 学生と企業との交流会開催(OB・OG交流会を3年ぶりに実施)
- 就職の手引き・企業紹介ガイドブック等の発行・配布

(4)卒業後の連絡網の充実や同窓会の開催

- 工学部同窓会名簿の管理および工学部同窓会の開催
- 卒業生支援室(同窓会事務局)での卒業生に対してのワンストップサービス

※在学生・卒業生から就活の支援要請が増えています。

今後も、在学生の支援を中心に活気ある工学部同窓会活動を推進しますので更なるご協力・ご支援を賜りますよう切にお願い申し上げます。



宮崎大学工学部同窓会会長 井上 康雄

宮崎大学工学部 同窓会だより

Contents

ごあいさつ	1p
各プログラム、センターの新任教員紹介	2-4p
2022年の主な活動	4p
教育・福利厚生・就職への支援活動	5-11p
各地区工学部会からのメッセージ	12-15p
2022年度 宮崎大学工学部同窓会 役員名簿	16p
2021年度 正・副幹事の紹介	17p
2023年の主な活動予定	17p

ごあいさつ

温暖な気候と豊かな自然の中で
ジェネラリティを持つ
スペシャリストを養成して
コロナ後の社会を復興させる!

宮崎大学工学部長 鈴木 祥広



新型コロナ感染症は終息すると期待していた2022年も感染者数は増減を繰り返し、東京や大阪などの大都市圏のみならず、宮崎県にも継続して甚大な影響を及ぼしました。しかし、感染しても無症状や軽症で回復する場合が多く、おそらく2023年には普通のカゼの一種として取り扱われるようになるのではないかと言われています。このパンデミックによって、我々の社会や生活の在り方が大きく変革されるでしょう。すでに、社会・産業を取り巻く環境は激変し、システム化や統合化に早急な対応が産業界等から求められています。国は、「デジタル・グリーン等の成長分野の人材育成強化」を掲げて、大学に意欲的に取り組むように指示してきました。宮崎大学工学部が生き残るために、教育プログラムや工学研究科などを積極的に改善し提案することが必須となっています。おそらく、この1~2年が勝負です。

そこで、社会のニーズを捉え、ジェネラリティを持つスペシャリストの養成をめざし、令和7年度から、根本的な学問分野は踏襲しつつ工学部工学科を構成する6プログラムの枠組みを改編すべく検討を進めています。ジェネラリティとは、広く一般的な知識や専門的な基礎知識のことです。スペシャリストとは、専門分野に特化した知識・技術を備えた人です。工学部では、両方を兼ね備えた人材の育成を目指します。6つのプログラムは、化学生命(化学)、土木環境(土木)、半導体サイエンス(物理)、電気電子システム(電気電子)、機械知能(機械)、そして情報通信工学(情報)です。大学院では、さらにプロフェッショナルな技術者を育成し、多分野との融合できる人材を排出していきます。

コロナ禍において工学技術者のニーズが非常に高まり、工学部の学生は、就職に困る状況にはありません。全国の大企業でも地元の企業でも、希望する業界・職種に、ほぼ全員が就職できています。就職状況が良好な背景には、工学部同窓会を中心とするネットワークが全国に構築され、支援して頂いていることが挙げられます。従って、学部の4年間と大学院工学研究科修士課程の2年間は、安心して学業や研究に集中できる環境が整っています。

宮崎大学工学部は、工学部同窓会のご支援を受けつつ、さらに飛躍します。

工学部同窓会の皆様のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げます。

各プログラム、センターの新任教員紹介

〈新任教員紹介〉

応用物質化学プログラム

教授 井澤 浩則



2022年4月から工学教育研究部応用物質化学プログラムに教授として着任した井澤浩則と申します。前職は、鳥取大学工学部化学バイオ系学科にて准教授をしておりました。コロナ禍での移動制限に悩まされながらのラボと自宅の引越しさ骨が折れる作業でしたが、どうにか無事着任することができました。着任後のゼロからの研究室の立ち上げも、苦労の連続です。毎日アレが無いコレが無いの日々、加えて半導体やプラスチック不足による機器や消耗品の納品遅延など、予想もしないトラブルの連続でした。着任から約半年たった現在、100%とは言えないものの、ようやく研究が進められるまでに環境が整いました。専門は、キチン・キトサンなど、天然高分子を用いる機能材料(特にバイオマテリアル)の創製で、オリジナリティーをモットーに研究活動を行っております。乾燥じわの発生メカニズムを利用した微細構造表面の創製など、おおよそキチン・キトサンからは連想できない研究も行っております。宮崎大学でも、井澤オリジナルの世界初を国内外に発信していくことを思っています。また、宮崎県の特色を活かした研究シーズの発掘にも力を注ぎたいと思います。今後ともご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

応用物質化学プログラム
准教授 宇都 卓也



2018年末に本学のテニュアトラック推進機構に着任し、2021年11月に准教授に昇任しました宇都卓也です。現在、応用物質化学プログラムの担当で、生物物質化学分野の教員として研究・教育に日々取組んでおります。専門は理論・計算化学で、生体高分子や電解質などにおける分子論的メカニズムをコンピュータシミュレーションによって解析・予測する研究活動を行っています。AI技術が注目される中、分子シミュレーションも材料開発や創薬に積極的に活用されるようになり、国内外の研究機関や企業との共同研究を展開しています。世界的にも競争の激しい分野ではありますが、それゆえに学生が最先端の研究に挑戦することで成長する機会を提供できると考えております。そのためには私自身が第一線の研究者として、成果を出し続ける必要があるのは言うまでもありません。母校出身であることからも、宮崎大学から波及性の高い研究成果や優秀な人材を輩出すべく、粉骨碎身の気持ちで頑張りますので何卒宜しくお願い致します。

機械知能工学プログラム
准教授 夔屋 賢

2022年4月1日付けで、機械知能工学プログラムの准教授に着任しました。2016年に大阪大学より博士号を取得し、2018年まで九州大学にて学術研究員、2022年まで東京工業大学で助教として働いてまいりました。専門はロボット工学であり、現在は「人の近くで動作する人や環境と親和性の高いロボット」を目指し、ソフトアクチュエータやウェアラブルロボットの研究を行っておりまます。宮崎大学では、機械知能工学の教育を通して、これから社会で活躍できる技術者の育成に取り組んでいきたいと思います。また、医学部を含む他学部や工学部内の他プログラムとも共同で研究を行うことで、宮崎大学の発展へ貢献していきたいと考えております。これからどうぞよろしくお願い申し上げます。



工学基礎教育センター
准教授 小林 俊介

2022年10月より工学基礎教育センターに着任しました。小林俊介と申します。海も空港もない群馬県で生まれ育ったため、学生さんの車にサーフボードが積まれていたり、上空を航空機が当然のように通過していく光景に衝撃を受ける日々です。専門は応用数学(解析学)で、特に微分方程式の解の定性的理論解析と数値解析に従事しています。現在は、反応拡散系と呼ばれる非線形偏微分方程式系の解のパターンダイナミクスや、固体燃焼現象の数理解析に興味をもって研究を推進しています。数学がもつ普遍性を武器に、様々な分野の先生方と共同研究を展開し、宮崎から世界へと個性溢れる研究を発信していく所存です。また、基礎教育という重要な使命を通して、困難な課題にも果敢に挑戦し解決へ導くことのできる人材の育成に尽力していきます。海に山に川にと実り豊かな宮崎で、自身の研究も豊穣となるよう精一杯励んでまいりますので、ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願ひいたします。



環境・エネルギー工学研究センター
准教授 太田 靖之

2022年2月より本学工学教育研究部環境・エネルギー工学研究センターに着任いたしました太田靖之と申します。本学工学部研究員として8年、その後テニュアトラック推進機構(現キャリアマネジメント推進機構)に5年と着任から合わせると宮崎に移住してからすでに14年が経ちました。その間、一貫して再生可能エネルギー、特に太陽光発電の研究開発に取り組ませていただいています。近年、国際情勢や気候変動により環境にやさしい且つ安定供給できるエネルギーが求められています。そのなかで太陽光発電は、発電の過程で温室効果ガスを排出せず、地球上どこにおいても発電が可能ということで注目されています。宮崎県は、国内において有数の日照条件が良好な土地です。その恵まれた環境と本学の手厚いサポートのもと太陽光発電のさらなる普及に向けた取り組み、例えば、電気自動車に適したソーラーパネルの開発や災害時における太陽光発電システムの利活用を進めています。特に電気自動車用ソーラーパネルの開発では世界に先駆けて様々な実証試験を実施しています。これからも宮崎大学が世界をリードする研究を進めるため邁進いたします。どうぞよろしくお願いいたします。



2022年の主な活動 コロナ禍の為、ほとんどの活動を残念ながら中止せざるを得ませんでした

- 3月 卒業・修了祝賀会(シーガイアコンベンションホール) 一中止
- 4月 工学部保護者懇談会(宮崎大学330記念交流会館) 一中止
- 5月 関西工学部会新入社員歓迎会(大阪城公園) 一中止
- 5月 第5回宮崎大学工学部同窓会(ニューウェルシティ宮崎) 一中止
- 5月 工学部ソフトボール大会
- 6月 関東工学部会(東京—TKPガーデンシティ渋谷) 一中止
- 6月 宮崎大学基金へ寄附目録を寄贈
- 10月 関西工学部会(大阪—梅田スカイビル) 一中止
- 10月 中部工学部会 一中止
- 11月 北部九州工学部会(福岡一八百治博多ホテル) 一中止
- 11月 第10回宮崎大学ホームカミングデイ
- 11月 「2023年版みやざき就勝ガイド」発行・配布
- 12月 工学部ソフトボール大会
- 12月 宮崎県内企業OB・OG交流会(330記念交流会館)

教育・福利厚生・就職への支援活動

「工学部卒業・修了懇談会」

3月24日(木)フェニックスシーガイア・コンベンションセンターサミットホールにて宮崎大学卒業証書・学位記・修了証書授与式に統いて、工学部卒業・修了懇談会が行われました。



宮崎大学工学部同窓会だより 2023年春号



宮崎大学工学部同窓会だより 2023年春号



「卒業記念品(クオカード3,000円)の贈呈」

フェニックスシーガイア・コンベンションセンターサミットホールでの卒業証書・学位記・修了証書授与式終了後に開催される工学部同窓会主催の祝賀会が中止となり、今年も工学部同窓会より今後の活躍を心より期待してクオカードをお贈りしました。



「工学部ソフトボール大会」

宮崎大学木花キャンパスグランドにて親睦を兼ねて5月21日(土)に第10回工学部プログラム対抗1年生ソフトボール大会、11月21日(月)に電子物理工学科(4年生～修士)ソフトボール大会が開催されました。



「宮崎県内企業OB・OG交流会」

コロナ禍の影響で実施延期をしておりましたが、12月2日(金)宮崎大学330記念交流会館にて、県内企業40社の皆様に参加いただき令和元年以来3年ぶりに開催することができました。人数制限等もあり学生の参加も以前ほどではなかったものの、170名を超える学生が参加し各企業の話に熱心に耳を傾けていました。



「宮崎大学基金へ100万円(工学部学生の教育支援)の寄附目録を寄贈」

6月3日(金)、宮崎大学工学部同窓会から宮崎大学基金への100万円の寄附を行うにあたり、宮崎大学学長室で贈呈式が執り行われました。

贈呈式では工学部同窓会の井上康雄会長から「工学部学生の教育活動を充実させ学生生活を豊かにするため工学部学生支援を目的に宮崎大学基金に寄付を行いたい」と述べられ、鮫島学長へ寄附金目録が贈呈されました。

これに対し、鮫島学長から「学生の支えになるよう有効に使わせていただきます」と謝辞が述べられました。



「2023年版みやざき就勝ガイド発行・配布」

2023年版のみやざき就勝ガイドを11月18日(金)に学科ごとに配布を行いました。今回のガイドは従来に比べ、各企業のアピールポイントをより多く反映し、その情報量もEXCELデータを活用することで多くの学生に公知できるよう工夫しました。



「宮崎大学工学部基礎科学(数学)における学生表彰」

12月13日(火)に工学部の3年生を対象に数学成績優秀者の表彰式を行いました。表彰式では、鈴木工学部長から表彰状と記念品が手渡され激励の言葉が贈されました。記念品(図書カード)は工学部同窓会が支援を行いました。



「学生の学外技術研修の交通費等」

各学科や各プログラムで学修する内容が具体的に社会でどう活かされているかなどを目的に学外技術研修を受けるための交通費(貸切バス)等を工学部同窓会として支援しています。



各地区工学部会からのメッセージ

関東工学部会代表幹事(Σ会関東支部長)



續山 浩二
(応用物理学系 S59年卒)

皆様、如何お過ごしでしょうか。

新型コロナウィルス感染症(COVID-19)の終息が未だ見えない状況ではありますが、一方で、新型コロナ禍が始まってから初めて行動制限のない年末・年始を迎えており、今後は”With コロナ”として、新型コロナウィルスに対処して行くことになるのでしょうか。

関東工学部会では、毎年6月の第2土曜日に懇親会を開催していますが、2020年から3年続けて懇親会の開催を中止せざるを得ませんでした。

学生の皆様におきましては、原則遠隔授業の時期もあったり、学生生活においてさまざまな制限が課されたため、キャンパスでの友達との会話、サークル活動等、これまでであれば当たり前だった学生生活が送られず、苦しい生活を強いられてきたと思います。

しかしながら、今は、オンラインで授業ができる環境を整えれば、他大学の大規模公開オンライン講座(MOOC)の聴講や、有料ではありますが、資格取得のための授業を受けることも可能です。また、オンラインで交友関係を広めることも可能です。何もできないと単に家に閉じこもっているのではなく、”これまでであれば当たり前だった学生生活”を、ご自身の工夫によって、”これからの中の当たり前の学生生活”に変えて、有意義な学生生活を送ってください。

関東工学部会では、2023年は、6月10日(土)に懇親会を開催する予定で準備を進めています。十分な感染対策を行った上で懇親会が開催されて、同窓生の皆様にお会いできることを楽しみにしています。2023年の春に就職・進学等で関東へ来られる方も、ぜひご参加頂ければと思います。

学生の皆様の今後の活躍を祈念いたします。



令和元年 関東工学部会懇親会にて

Message

中部工学部会 会長

安川 雅夫

(機械工学科 S46年卒)



工学部同窓会の皆様、いよいよ社会へ翔び立つ時がきましたね。おめでとうございます。コロナ禍の中、不自由な学生生活を強いられたと思います。新たな環境においても、暫くはこの状況は続くかもしれません、次世代に相応しい価値観を築き上げていかれることが期待しております。

私たちの中部工学部会も、残念ながらコロナの影響で、この3年間活動を中止してきました。早く再開できればと思っています。この中部地区(愛知、岐阜、三重、静岡)に来られる方々にお願いしたいことがあります。それは、私や各出身学部の同窓会支部長さん、あるいは懇意にされていた先輩方への連絡です。私たちは、あなた方をお待ちしています。宮崎大学工学部同窓会は、よその大学よりもずっと身近な存在として感じができるものと自負しております。年齢や業種に関係なく、遠慮なく付き合える場が存在するのです。少なからずは力になれるのではないかと思うのです。

そして、あなた方からまた次の世代へと、同窓会という縁を繋げていくことができれば、とても素晴らしいことだと考えています。

私は、すでに退職し、非定期のアルバイトを楽しみながらのご隠居さん生活を送っていますが、就職した当時は、近くにいる同級生あるいは会社の同期入社の連中との集いを楽しんでいました。ほどなく社内におられた機械工学科卒の先輩方からお声をかけていただき、同窓会組織である機友会の活動に係っていくことになりました。この地方には多くの機友会員がおられ、地域ごとのグループに幹事を置き、持ち回りで各地の観光地巡りを企画し、皆で集まり楽しみながら年に一度の親交を深めていたのです。

最近になって、工学部全体の同窓会が立ち上がり、学科を超えた交流を拡げようとの活動が始まった途端のコロナ過です。運営や活動内容に新しいやり方を模索中であったところの中断は痛かったです。皆さんのが協力があれば、再開の喜びも大きくなることでしょう。連絡をお待ちしておりますので、よろしくお願いします。



関西工学部会 会長

川口 勝

(機械システム工学科 H10年卒)



工学部同窓会の皆様、いかがお過ごでしょうか。コロナウイルスが蔓延してから早いもので3年が経過し、2022年もコロナに振り回される年になりました。漸く、通常の生活に戻りつつあり、少しづつではありますが明るい兆しが見えてきました。

学生の皆様におかれましては、大学生活の大半をコロナの中で過ごされ、同級生や仲間とコミュニケーションの場を持つことが難しかったのでは想像します。

関西工学部会でも一昨年・昨年に統いて全ての活動を自粛し、会員の皆様とお会いすることが出来ず、とても残念でなりません。通常であれば、年2回の親睦会を開催しています。①4月第3土曜日12時から新入会員歓迎会として大阪城公園で開催 ②10月第3土曜日or日曜日に大阪駅周辺にて開催しています。2023年こそは、開催に向けて準備を進めたいと考えております。今後の状況によっては中止の可能性もありますが、開催が決まりましたら、奮ってご参加ください。

工学部同窓会を通じて、様々な分野で活躍されている諸先輩方との繋がりを大切にし、特に若い方々のお力に少しでもなるよう活動を続けて参りますので、お気軽にご参加いただけますと幸いです。

まだまだ不安な日々が続くと思いますが、皆様のご健勝とご多幸を祈念しております。



Message

北部九州工学部会 会長

今井 富士夫

(土木工学科 S48年卒)



同窓生の皆様、コロナが再び拡大していますが、如何お過ごででしょうか。

今年もまた、北部九州工学部会(以下、北九部会と称す)の同窓会はコロナ禍で開催できませんでした。北九部会は2017年に第1回同窓会を開催してからの3年間、各学科同窓会幹事の皆様からのご協力も戴きまして、参加者も年々増えていました。しかしながら、2020年12月に中国・武漢から発したコロナが日本国内にも爆発的に広がって、同窓会のような飲食を伴う懇親会は開催できなくなり、現在まで休止状態が続いています。

今年は国内外で驚くような大きな出来事がありました。2月にロシアによるウクライナへの軍事侵攻が始まり、ウクライナの街々は連日のミサイル攻撃によって焦土と化し、占領下でのウクライナ市民はロシア兵士の残虐な暴力に晒されています。この愚行で経済制裁を受けたロシアはその報復に原油・天然ガスや小麦の輸出を制限したため、世界的なエネルギー・食糧危機となっています。

また、我が国では7月の安倍元総理の銃撃事件から閉ざされていた旧統一教会についてメディアは競って報道するようになり、旧統一教会が我が国を食い物にしてきた歴史が報じられるようになって、与党に属する多数の議員が他国の宗教団体の正体を確かめもせず、国内での活動を容認し、協力してきたことも明らかにされています。

この2つの問題は、国民党は国が誤った方向に暴走しないようにしっかりと監視し、どんな選挙にも真摯に向き合うべきであることを示唆しています。

大規模な自然災害に向けた減災・防災、化石燃料に頼らない再生エネルギーの活用や農業・漁業への技術の利用など、工学は期待されています。各分野の学問を融合した新たな技術は我が国の大好きな資源となります。

工学部は2021年に工学部全体を1つの学科(工学科)に括る大改組を実施しています。他分野の幅広い知識を学ぶ環境を構築した新しい工学部で、将来の日本を支える礎を築いていきましょう。

同窓生の皆様のご健勝とご活躍を祈念いたしますとともに、来年こそ同窓会を開きたいと思っています。同窓会には多くの方の参加をお待ちしています。

2022年度 宮崎大学工学部同窓会 役員名簿

役 職	氏 名	卒業年	卒業学科	所 属
会 長	井上 康雄	S45	機 械 工 学 科	機 友 会 会 長
副 会 長	日高 宗徳	S59	工 業 化 学 科	化 学 会 会 長
副 会 長	田村 俊彦	S53	応 用 物 理 学 科	Σ 会 会 長
副 会 長	出口 近士	S51	土 木 工 学 科	土 木 会 会 長
副 会 長	大石 豊文	S54	電 気 工 学 科	電 電 会 会 長
副 会 長	齋藤 幸雄	S45	応 用 物 理 学 科	Σ 会 会 長
理 事 長	森 浩二			電 子 物 理 工 学 科
副 理 事 長	友松 重樹	H7	機 械 工 学 科	機 械 設 計 シ ス テ ム 工 学 科
理 事	菅本 和寛	H3	工 業 化 学 科	環 境 応 用 化 学 科
理 事	嶋本 寛			社会環境システム工学科
理 事	高橋 伸弥	H6	情 報 工 学 科	環 境 ロボティクス 学 科
理 事	加来 昌典	H8	電 気 電 子 工 学 科	電 气 シ ス テ ム 工 学 科
理 事	油田 健太郎	H15	情 報 シ ス テ ム 工 学 科	情 報 シ ス テ ム 工 学 科
監 事	野崎 清春	S41	機 械 工 学 科	機 友 会 副 会 長
監 事	大榮 薫		工 学 基 础 教 育 セン ター	
事 務 局 長	臼崎 雄一	S60	機 械 工 学 科	機 友 会
事 務 局 員	帖佐 悅子			

2021年度 正・副幹事の紹介

同窓会では、毎年各学科の学部卒業生の中から各学科の正・副幹事を依頼して、①卒業後の連絡網の充実 ②同窓会への参加 ③同期の方への参加連絡等の情報伝達をお願いしております。

学科	名前	
環境応用化学科	正幹事	山口 混太
	副幹事	鈴木 耀介
社会環境システム工学科	正幹事	鳥田 雄太
	副幹事	塙田 寛明
環境ロボティクス学科	正幹事	久山 真海
	副幹事	井上 哲平
機械設計システム工学科	正幹事	中池 亘
	副幹事	高橋 海斗
電子物理工学科	正幹事	赤木 愛実
	副幹事	本村 優芽
電気システム工学科	正幹事	東田 祥和
	副幹事	藤堂 翔太
情報システム工学科	正幹事	増澤 涼
	副幹事	長友 耀希



2023年の主な活動予定

※新型コロナウイルス感染防止のため中止になることがあります。

- 3月 …… 卒業・修了祝賀会(シーガイアコンベンションホール)
- 4月 …… 工学部保護者懇談会(宮崎大学330記念交流会館)
関西工学部会新入社員歓迎会
- 5月 …… 第5回宮崎大学工学部同窓会
- 6月 …… 関東工学部会
- 10月 …… 関西工学部会
中部工学部会
- 11月 …… 北部九州工学部会
- 12月 …… 「2024年版みやざき就勝ガイド」発行・配布
宮崎県内企業OB・OG交流会(330記念交流会館)

みやざき就勝ガイド

宮崎に就職したい在学生の皆さん!! 宮崎に転職したい卒業生の皆さん!!



2023年版
「みやざき就勝ガイド」
QRコード

卒業生支援室(工学部同窓会)では
工学部のOB・OGが活躍している企業の情報誌
「みやざき就勝ガイド」を発行して情報提供しております。

興味のある方は、B103「卒業生支援室」まで
お気軽におたずねください。

TEL.0985-58-7862
[Eメール] eng-doso@of.miyazaki-u.ac.jp

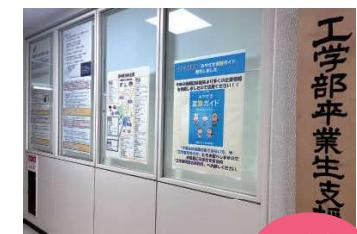


■工学部同窓会の連絡先

工学部同窓会の連絡先は、以下の通りです。
同窓会の開催等何かご不明な点がございましたら、
下記までご連絡お願ひいたします。

宮崎大学工学部卒業生支援室
(同窓会事務局)B103

住所 〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地
TEL・FAX 0985-58-7862
Eメール eng-doso@of.miyazaki-u.ac.jp
担当 白崎・帖佐
同窓会HP <https://www.web-dousoukai.com/miyazaki-eng/>



同窓会
ホームページ

